

地平線



謹賀新年



新年にあたり 47回生学年団より年頭のご挨拶を申し上げます。

学年主任 菱池 美保

「一年の計は元旦にあり」と言います。新しい年の計画は、年初めの元旦にきちんと立てなさい、つまり、なにかを始める時には、計画をきちんと立てる必要がある。と言っているのです。「計画」というより、「目標」に置き換えるとぴったりにくるかもしれませんね。さあ、今年はみなさんにとってどんな年になるでしょう。とても楽しみです。

私の目標——仕事面では 47 回生の成績をUPさせる。預かった大切な若者をこのままで終わらせない、終わらせるわけにはいきません。

個人的には……鉢植えで育てて3年目になるシャインマスカット、今年こそ実らせる（どうでもよいことです、失礼）。

ところで、「一年の計は元旦にあり」には続きがあります。「一年の計は元旦にあり、一生の計は勤にあり、一家の計は身にあり。」つまり、「一年の計は元旦にあり、そしてその積み重ね

の一生は、まじめに働くかどうかで決まり、まじめに働くにしても、あなたが養う一家は、あなたの健康でまわるのですよ。」こんな意味になるのでしょうか。高校生に照らして少しアレンジすると、「体調管理を怠らず、まじめにこつこつ勉強していけば、きっとあなたの目標に到達しますよ。」ということになります。「せっかく計画を立てて実行するなら、三日坊主じゃいけませんよ。」とともれるのでしょうか。

ずっと先、大人になったとき、高校で過ごした3年間を振り返る時が必ず来ます。取り戻すことのできない活力と希望にあふれた若き日々を「あのときもう少しこうしておけばよかった」と、後悔することのないよう、一生懸命やるべきことをやり、いきいきと過ごしてください。ともに頑張りましょう。

『 自覚 』

副主任 清水 弘也

新年あけましておめでとうございます。昨年を振り返ってみるとどうでしょうか？昨年の今頃は皆さんはまだ中学生でした。そこから高校入試があり、相生高校へ入学し、忙しい日々について行くのがやっとで気づいたら 1 年が過ぎていた人も多いのではないのでしょうか。さて、今年はあるという間に、皆さんは2年生になります。相生高校の中心となって学校行事等での活躍を期待しています。そして、相生高校の2年生としての自覚を持った行動・言動を期待しています。そのためには、勉強や部活動などの学校生活を有意義に送ることはもちろん、外に出て自分の知見を広げたり、様々な人との交流を通して人間としての幅を広げることも大切だと思います。そうしてコミュニケーション力を高めてみましょう。

最後に私の今年の抱負は心穏やかに1年を過ごしたいと思います。これには、皆さんの協力が不可欠です。皆さんが相高生として自覚と誇りを持った行動をしてくれれば、私は心穏やかに過ごせます。今年も1年間よろしくお願いします。

『 2024 年もしたいことだらけ！ 』

1 組担任 岩井 裕子

2024 年の幕開け、君たちは何を決意しましたか？

私の目標は毎年のように「新たなことに挑戦し、その達成のためにワクワクすること」です。昨年も一つやり遂げワクワクがさらに加速しました。たしかに、年齢とともに「新たなこと」を見出しにくくなっています。しかし「新しい何か」を探すこと、これもまたワクワクドキドキです。日常生活の中にも、あなたたちと関わる中でも、それ以外の「仕事」の中にも何かが隠れていて、それを探し出そう。そう考えるだけでも少し楽しくなります。

ましてあなたたちはまだまだ若く、やったことのないことや知らないことが世の中にはあふれています。「今のままでいい」「失敗するかもしれないからやめよう」そんな風に考えるのはもったいない！そして、周りにいる人たちも、きっかけを与えてくれたり一緒に挑戦してくれたり、いろいろな力をくれます。同年齢だけではなく年の離れた人たちとも積極的に会話をし、あなたたちのパワーとワクワクを何倍にも膨らませましょう！

『 どこへ出かけようカーな。』

2組担任 中田 祥太郎

新年明けましておめでとうございます。今年の干支は辰です。卯年生まれの私としては、少し寂しいような気がします…。龍のように、飛躍の年にしたいですね。

さて、私の新年の抱負は「車で旅に出る」です。2023年の夏に車を買ったものの、ほぼ仕事でしか使っておらず、車でどこか旅へ出たいと思います。色々な人と色々な場所へ行き、その経験を授業や学級活動に還元できたらいいなと思っています。

2023年はこの相生高校という新たな環境に身を置き、多くのことを経験できた記憶に残る1年となりました。また、趣味も充実したものとなり、ベルリンフィルオーケストラや全日本吹奏楽コンクールなど、様々な演奏会を観ることができました。これも君たち47回生のおかげです。2024年も力を借りることが多いと思います。今年もよろしくね。

『 今年の抱負 』

3組担任 瀬戸 良昭

明けましておめでとうございます。旧暦では、数え年でしたので、新年を迎えると、みんな一斉に年(年齢)が重ねられます。これは、時間軸が緩やかであったものの、みんなで年を越せたことの感謝も含まれているのではないかと思います。

さて、私の今年の抱負ですが、効率を高めて、残業をなるべくしないことに努めることです。大学で、経営管理論、つまり、マネジメントを学んだものの、学んだことが全く活かしていないのではないかと指摘されれば、言い訳できません。私の今年の抱負はこのようなのですが、皆さんの人生は実り多い豊富なものであってほしいと願います。されど、コスパ、タイパなどという言葉が流行っていることが少し心配です。確かに、生産性は大切ですが、人生は価格や数字では計れない priceless なものだと思うからです。もう経験済みの人もいるかもしれませんが、皆さんも一つでも多くそういうものが見つければ、良いですね。

『 新年を迎えるにあたって 』

4組担任 西山 直輝

新年あけましておめでとうございます。今年の干支は甲辰です(十二支で言うと「辰」ですが、それに十干の組合せが加わります。それが干支です)。十干の最初の文字である「甲」と、昇り龍のイメージの通り勢いのある「辰」との組み合わせは、今年が成功への上昇を期待できる1年だということを示しているとのことです。47回生の皆さんは干支にあやかって成功への上昇に乗ることができるでしょうか。活躍を楽しみにしています。

さて、私の新年の抱負ですが、「プライベートを充実させる」としたいと思います。教員3年目の年ですので、これまでよりも広い視野をもって学校の外での時間の使い方を見直したいです。様々な人に会う、行ったことのない場所へ行く、そうした経験がまわりまわって47回生の皆さんの成功を後押しできるスパイスになると信じています。

『 新年を迎えて 』

副担任 島本 陽子

2024年が始まりました。「明けましておめでとうございます。」
・・・と言いながら、「何がめでたいの?」と思ったことがある人は少なくないでしょう。答えには諸説あるようですが、有力な説は以下の通り。

昔の人々は、祖先の霊が田畑や山の神様に生まれ変わって、正月に「年神様」として高い山から降りてくると信じていました。年神様の「年」は、「一年」ではなく、穀物を意味した「トシ(登志)」、つまり「五穀豊穰」が語源とのこと。豊かさと幸せをもたらしてくれる年神様を各家庭に迎えるために年末には大掃除をし、正月にはしめ飾りや門松、鏡餅を飾って新年を祝うようになりました。

どうですか?何気なく使っている“お決まりの言葉”ですが、なかなか奥深いですね。47回生の皆さんが年神様に守られつつ、健康で有意義な2024年を過ごせますように!

<大学一般入試本番>

この時期、3年生の先輩たちは受験のピークを迎えています。改めて、先輩たちのスケジュールを知り、2年後の自分たちの動き方を想像してください。「まだ2年もある」ととらえるのではなく、「自分も必ず通る道だ」という当事者意識を持って確認しましょう。1年生の今の段階でできること、やっておきたいことがたくさんあります。

